様　式　Z－7

平成２８年度科学研究費助成事業　実績報告書（研究実績報告書）

1．機関番号　3 2 6 0 4

2．研究機関名　大妻女子大学

3．研究種目名　基盤研究(B)（海外学術調査）

4．研究期間　平成２５年度～平成２９年度

5．課題番号　2 5 3 0 1 0 3 9

6．研究課題名　海外日本人社会における移民主体の変容とコミュニティの再形成に関する経験的研究

7．研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
4 0 2 4 0 3 4 5	ヨシハラ　ナオキ 吉原　直樹	社会情報学部	教授

8．研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
5 0 1 6 4 8 3 5	ハセベ　ヒロシ 長谷部　弘	東北大学・経済学研究科（研究院）	教授
8 0 1 3 3 9 1 6	コンノ　ヒロアキ 今野　裕昭	専修大学・人間科学部	教授

9．研究実績の概要

平成28年度を含めて、これまでの研究で明らかになったことは、以下の通りである。
1．バリの日本人社会は、移民第１世代、第2世代、第3世代の間に明確な違い（ディバイド）が生じている。総じて第1世代はインドネシアに同化している。それにたいして、若い世代ほど、フットワークの軽い「ライフスタイル移民」が多数を占めている。
２．また若い世代ほど、コーエンのいうような「グローバル・ディアスポラ」が多くなっている。かれら／かの女らにとって、国境の壁は低く、アイデンティティも複層化している。またインドネシアの同化圧力からも相対的に自由である。
３．とはいえ、日本人社会から脱落化／周辺化する人たちが、特にセカンド・リタイアメント層の間から立ちあらわれている。かれら／かの女らは、日本政府からは「自己責任」の論理で、またインドネシア政府からは「福祉対象者」として忌避される傾向にある。
４．全体としてみれば、日本人社会は脱統合化と再中心化を繰り返すなかで流動社会の性格を帯びている。また多様なアイデンティティが重層している。それとともに、日本人移民にとって、日本人会はone of themの存在でしかなくなっている。日本人会の外でさまざまな集団／組織に分属している。
なお、これまでジャカルタ日本人会（Japan Club）およびジョグジャカルタ日本人会での資料サーヴェイは現地研究者の協力を得て遂行されてきたが、バリの日本人会との比較をおこなうには、なお資料上の制約（次元の違うものが混在）があるため、引き続き現地協力者にお願いしてあらたな資料のサーヴェイをおこなっている。その上で上記のfindingsについての経験的一般化の妥当性を検証することにしているが、いまのところ、そうした妥当性はおおむね追認されるものと想到される。

10．キーワード

(1) 海外日本人社会　(2) ライフスタイル移民　(3) グローバル・ディアスポラ　(4) セカンド・リタイア層
(5) バリ社会　(6)　(7)　(8)

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。

11.現在までの進捗状況

（区分）（3）やや遅れている。

（理由）

カウンターパートナーとの調整がうまくいっていないことが、全体の調査研究の進捗を部分的に妨げている。しかし当初計画は概ね実施されており、メインとなるフィールドワークおよび資料サーヴェイは、一部を除き順調にすすみ、「15.科研費を使用して開催した国際研究集会」にみられるように、中間成果の発表もすでになされ、一定の評価を得ている。

12.今後の研究の推進方策　等

（今後の推進方策）

現地調査のやり残したものをカウンターパートナーとの再協議の上、早急に実施するとともに、中間成果報告書『海外日本人社会とメディア・ネットワーク』で課題となった点をあきらかにするための補充調査も実施する。そして成果の最終集約をおこなう。

（次年度使用額が生じた理由と使用計画）

（理由）

当初予定していた現地調査がカウンターパートナーの事情により先延ばしになったため、使用額の一部を次年度に繰り越さざるを得なくなった。

（使用計画）

カウンターパートナーとの周到な協議の上すみやかに調査実施計画をうちたてる。そして現地調査のための費用に充当する。

（課題番号： 25301039 ）

13.研究発表（平成２８年度の研究成果）

〔雑誌論文〕　計（０）件／うち査読付論文　計（０）件／うち国際共著論文　計（０）件／うちオープンアクセス　計（０）件

著　者　名	論　文　標　題

雑　誌　名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著

掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）
オープンアクセス

〔学会発表〕　計（０）件／うち招待講演　計（０）件／うち国際学会　計（０）件

発　表　者　名	発　表　標　題

学　会　等　名	発表年月日	発　表　場　所

〔図書〕　計（０）件

著　者　名	出　版　社

書　名	発行年	総ページ数

14.研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕　計（０）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

（課題番号：　25301039　）

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。

〔取得〕　計（0）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕　計（1）件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所
国際シンポジウム「海外日本人社会の〈いま〉」	2017年02月19日～2017年02月19日	専修大学

16.本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

（1）国際共同研究：－

17.備考